



いっぺいといっぷく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えます。
市HP「によぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.86 介助犬から学ぶこと

長久手市内に、介助犬を育成する介助犬総合訓練センター「シンシアの丘」があります。社会福祉法人日本介助犬協会が運営しているこのセンターは、介助犬の育成を専門にした総合訓練施設としては、日本で唯一の存在です。

私が、センターを見学を訪れた際、教えていただいたことが2つあります。

1つ目は、ほめることの大切さ、2つ目は、自分の役割を楽しむということです。

介助犬は、ほめて育てます。上手にできたときに「すごいね」と言ってタイミング良くほめると、犬が自信を持ち、楽しく作業ができるようになるそうです。反対に失敗したときは、叱るのではなく、成功できるように犬の動きをフォローすると聞きました。

介助犬を見た人から、「犬がかわいそう」と言われることもあるそうですが、介助犬たちは、決して「やらされている」「働かされている」とは思っておらず、ほめられることがうれしくて、自分の役割を楽しんでいるそうです。確かに指示が出たとき、うれしそうに尻尾を振っています。

今、人間の社会は、「ほめる」ということを忘れてはいないでしょうか。

テレビを見ると、毎日のように特定の人を非難して、責め立てている場面が映し出されています。そうした場面を見る度に、子ども達がこの状況をどう思っているのだろうか?と心配になります。「間違えると責められる」「間違えた人は、責めてもいい」「だから間違えてはいけない」「だったら、言われたこと以外はやらない方がいい」と思ってしまうのではないでしょうか。

家庭や学校でも、親や先生が思う様に子どもを当てはめようとしたり、「こうでなければならぬ」「これはしちゃダメ」と言ってばかりではないでしょうか。

もちろん、間違っていることは、しっかりと指摘したり、教えたりする必要はあります。しかし、大勢の前で大きな声で指摘する必要がないこともあります。先日、職場で抹茶を出す機会がありました。普段、抹茶を点てたことがない職員は、茶碗の種類を気にせず、出していました。そこに同席していた高齢女性は、私の耳元で、「これは夏茶碗なんですよ」とこっそり教えてくれました。きっとその女性は、ほめることも上手にできる方なんだろうと思います。

5月22日の「ほじょ犬の日」に、毎年モリコロパークで開催されている「介助犬フェスタ」が、コロナ禍のため、今年もオンラインで開催されます。介助犬の素晴らしさを知っていただく良い機会です。ほめられて、のびのびと活躍する介助犬の姿をぜひ、ご覧いただければと思います。

※詳細は14ページをご確認ください。

介助犬フェスタHP▶



ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは! 西小学校区まちづくり協議会 検索 です。

総会のご案内(書面議決)

◆2021年度の総会を5月23日に開催します。感染症拡大防止のため、今年度も書面での表決を行います。5月上旬に配布する広報誌「みんなの西まち・総会議案書」をご一読いただき、各議案についての賛否を5月20日までに添付の返信封筒にてご提出くださいますようお願いいたします。

※ご質問・ご意見は、議決書にご記入いただくか、メールもしくは共生ステーションでうかがいます。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 イチニースマイルトリオ
イメージキャラクター
小学校区まちづくり協議会
<https://ichigahora.jimdofree.com/> (協議会HP)

■コロナ禍のため、今年度もやむを得ず総会の開催を中止します。

昨年度は総会が開催できなかったため、今年度も感染状況の推移を慎重に見極めてきましたが、ここにきて感染の再拡大が大変心配される状況になっています。

このため、今年度も書面による表決をさせていただくことといたしました。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、5月中には議案等を校区内の皆様のお手元にお届けして賛否の表決とともに、ご意見を伺い、ご質問をお受けしてまいりますのでよろしく願いいたします。



長久手市地域見守り安心ほっとライン

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

0561-63-5556

24時間
365日受付

